

「QOL(3つの生の質の存在)と
レジャー・レクリエーション・スポーツとの関連」

QOL(Quality Of Life)が正しく表現され、またその語訳も正しく使用されているだろうか？

そもそも英語のLIFEの意味はとても広く、生命、生活、人生の3つの意味を有している。

enhancing the quality of lifeが日本では「QOLの向上」と訳されているが、QOLそのものは医学・医療や社会福祉の分野で多く表現されている「生活の質」の訳語が社会の中で中心的に理解されている。

WHO(世界保健機関)は、1994年にQOLを「一個人が生活する文化や価値観の中で、目標や期待、基準、関心に関連した自分自身の人生の状況に対する認識」と定義している。

QOLの維持向上とは、人間としての尊厳を守ることであり、即ち自律の尊厳というものである。

WHOはQOLを「健康」とも定義している。QOLは3つの生の質(図. 註1.)により構成されているもので、次の通りで：

① 生命の質 ② 生活の質 ③ 人生の質

である。これら3つの生の質に価値の異なりや優劣については明確ではないが、少なからず優先順位は存在する。例えば、災害時等であれば、先ず原則的だが72時間以内の人命救助(生命の質)の確保が求められ、その後に生活上の対応(生活の質)の確保、そして更に生業を含めた人生設計(人生の質)の確保のそれぞれの向上が求められる。

また、WHOが言うQOLの定義である「健康」の視点からすれば、生命の質は①積極的な健康の維持増進であり、生活の質は②日常生活の中での余暇活動・余暇生活の充実であり、人生の質では③生き甲斐づくりの具現化に関連する。

上記①②③の内容は、奇しくも一般社団法人神奈川県障がい者スポーツ協会(KPSA)の定款(目的)第3条に掲げられていることとも合致する。

それらの質の向上に対応する実践にあたっては、レジャー・レクリエーション・スポーツが深く関与していることにほかならない。

具体的なレジャー・レクリエーション・スポーツの^{ひもと}繙きについては、「かなパラ通信」レジャー・レクリエーション・スポーツ^{よもやまばなし}四方山話(第3号：「スポーツの捉え方の再考」、第4号：「余暇(レジャー)の3機能の理解と余暇活動の^{ひもと}繙き」、第5号：「レクリエーションの本質(Essence) ～レクリエーションの知られざる力～」を御覧ください(KPSAのホームページ [https://kanagawa-parasports.or.jp] トップページ「会長コラム」に掲載されています)。

WHOがQOLについて、健康や、生命、生活、人生の質の向上を説いているが、これからの人々の生活の中で、以上「3つの生の質」の向上を図っていく観点からもQOLに存在する本質的意義とともにレジャー・レクリエーション・スポーツの意義を理解し、改めてそれらの関連についての再認識をしていきたいものである。

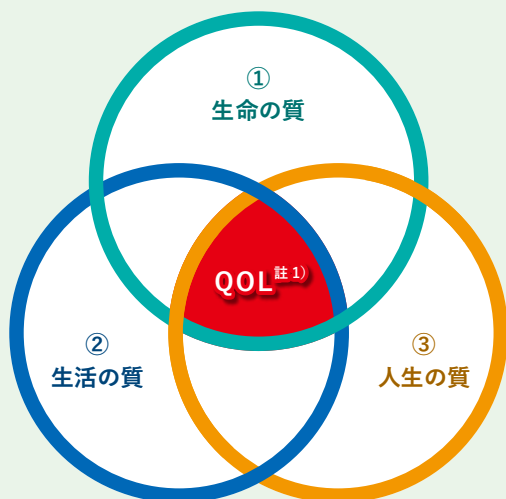


図. 註1. QOL = Quality Of Life
(QOLに存在する3つの生の質)



一般社団法人 神奈川県障がい者スポーツ協会 会長
社会福祉法人 磯子コスモス福祉会 理事長

鈴木 秀雄

(関東学院大学 名誉教授、学術博士、Ph.D.)